



路 政 僧

▽ △
世界平和、是れ吾人々類の理性の要

求、之を期する能はずとせば人類生活も弱肉強食的禽獸の夫れと異るところが無い筈、此見地に立脚して其の實現性を疑ひつつも尙不戰條約の提唱に賛成した、否な其の成立の速ならむこと

を希望した、然るに何ぞ圖らむ、提唱者、米國に於ては上院其の條約批准を躊躇すと言ふ。

新海軍政策——通商及領土保護の爲に列國に優れた海軍力を維持すること、夫れが不戰條約を提唱した米國の重要國策、建艦の目的と理由とはいか様にも理屈が付く、唯建艦其のことが

既に不戰と氷炭相容れない政策、矛盾した事案を竝立して萬國監視の裡に議せむとする大膽と無智、英佛海軍協定の陰謀に足をかけたもの、紙上の海軍擴張が事實なら列國の猜疑心を醸成せしめ各國に脅威を感じしむるに不及、速に撤回して條約批准に進め、夫れが出来ずとせばモンロー主義に還れ、世界平和を口にする歐米耶蘇教國は禽獸的國家か、米上院の熱感を求むるや切。

▽ △
厄介な支那國民、私の豫想した途を辿つて日支兩國の經濟斷絶を行ふ、假令夫れが支那人の愛國的行動と評價されても、其の結果は必ずや國家生存の基礎たる支那國民經濟の不利益を齎す

こと必定、夫れに尙愛國の美名に陶酔して不法横暴を敢てするところ、支那國民の無智無能を表徴するもの、文明國家の民では無い。少し手近の形勢を見るが可い、列國が美辭巧言を以て卿等に接近せむとするのは、貿易の利益を維持増進するの魂膽に在る、日支の貿易と列國との夫れに依る支那人の不利は今更勳定する迄も無い筈、従つて各國が貿易に依つて其の利益を搾取すればする程、支那人は不利益を蒙る譯、此見易き經濟事情を無視して建國創業の事に方らむとするのは、國民あつての國家たるを知らざるもの、利に敏なる支那人が驟起して痴人夢を説く底の妄動に日を送るは建國を不可能ならしむる所以と知るべし。反日運動に

怨嗟の聲を發し反反日を強調する故なきに非ず。

▽ △

政治季節到來し、組閣以來一年有半に亘つて政權を維持した政友會内閣の主義政策が、近く議政壇上の組上に上るに至つた、言はば政友會の決算期が到來した譯、之に依て政友會が如何に評價されるかが判明する筈、併し現代の政界事情に鑑れば、政府與黨竝に準與黨の勢力を以ては議場に過半數を制するには足らぬ、そこに生くるが爲の惱がある、之を打開する唯一の手段として、憲政一新會との政策の協定、新黨俱樂部との妥協、民政黨の切崩しと不條理な計畫を樹てたのは政友會の無

謀、蓋し立憲制の下に於て公明正大であるべき政治を暗黒裡に取引せむとする所に無理と條理の履き違ひが在る、假令是等は何れの政黨も從來爲し來つたところとして咎めないにしても協定乃至妥協は政黨固有意見の放棄を前提とす、従つて大政黨を以て自負する政友會が小團體の向背に左右される結果を齎し、國民の意見を代表する筈の政黨と、代表される國民の意思と齟齬した政治が行はるることと爲る、或は言つても不可能かも知らないが、吾れ敢て之を政友會に言はむ、曰く、假令頭數の多きを占めて形式的法上の勝利を得ても、夫れは國民多數の代表的意思の表現でない、夫れよりか醜惡な暗黒取引を廢して負けても可い政友會獨自

の政策で進むべしと。

殊に世人を愚弄するものは、床次氏の渡支事件に在る、對支問題に就き民政黨を脱退したる床次氏と田中首相と會見して後の渡支、いかに一浪人否な一個人の支那視察と強辯しても國民は愚弄されない、見給へ、床次氏の支那に於ける聲明を、我が政府の對支策を謳歌してゐるではないか、此欺瞞的旅行に依つて現政府と新黨俱樂部の對支策が一致したと言つて、夫れは旅行前の内約を公表しただけのこと、此芝居旅行に依つて床次氏が内閣に入るは見易きこと、妥協苟合の機縁を取結ぶ藝當と評されても辯解の辭なからむ。

自稱大政黨政友會よ、世人を愚弄欺瞞し卿等を見捨てた床次や小泉一派を

拜み倒し、憲政を茶毒し自我を放棄し

て迄政權を維持するの陋を採る勿れ、濱口總裁ではないが、暗黒の中に執つゝある唾棄すべき陋劣醜惡なる手段は國民思想を悪化せしむと、至言遂に卿等に同情を持つた世の有識者も亦卿等を見放すは必定、覺醒を促すや切。

▽ △

濱口總裁、日支關係の悪化が現内閣の採つた武力偏重外交の崇りなることを告げ、租讓問題は新稅の創設と爲つて國民一部に負擔の増加を強要し、租讓後地方は獨立財源を獲得して地方事業の濫興を伴ひ、國民の負擔は輕減せざるを説き、政府豫算は積極と緊縮の中間に彷徨する無主義無方針のもの

評す、或は適評かも判らぬ、併しながら

唯政府の政策を非難攻撃するだけ、夫れが在野政黨の探るべき態度では無い、國民は更に進むで民政黨独自の政策を聞きたい、否な夫れを聲明するのが民政黨の使命、然るにも不拘纏に國民必需品に對する消費稅の輕減を聲明したに不過、而かも夫れに依る國稅補完の方途に及ばずして、言ふ所徹底せざる所に民政黨の無方針を表はす、唯た是れ位を以て民政黨の獨自を強調し、倒閣運動に奔走しても大衆の共鳴を得ざるは當然、看板を改造してモ一少し國民の實生活に基礎した政策を樹立するのが急務、夫れが民政黨更生の唯一策、之を爲さずして黨員の結束を策しても駄目、齒をむいて浚はれ行く

黨員を惜むでも、大隈一派も行くべき所に行くであろう、是等は畢竟卿等自業自得の勢と可言、之も亦覺醒を求むるや切。

▽ △

二大政黨の爲す所言ふ所、互に猿の尻笑に終つても、現内閣が産業立國や地方分權を標榜して爲さむとするもの曰く、兩税の委讓、自作農の創定、鐵道政策の改定、社會政策的立法、地方長官公選、等々と國民生活に直接の關係あるもの多數を占む、是等は信を措けない政黨者流に一任して解決を俟つ程の小問題では無い、國民自ら事の可否を判斷して輿論の下に彼等政黨者流を指導するの要ある生活上の必要問題。

併し兩税の委讓乃至自作農の創定、何れも未だ成案あるを聞かない。蓋し今の政黨乃至政治家は結論の發表に急にして、根本的な調査を後日に譲るのが通弊、従つて其の言ふ所基礎的調査を缺いた政見たるを免れぬ、見給へ、

租税の委讓にしても委讓主體を究めず委讓後の國稅體系乃至は善後措置を考へずしての租讓論、本末を顛倒した考案と可評、自作農創定策に至つては一夜造りを目論む、其の價値や知るべきのみ、之を以て覺醒しつゝある大衆に臨まむとす、亦難い哉。

鐵道政策の改定、又地方交通に供する新線の追加を策す、いかに政策は時代の趨勢に適應することを要するにしも、一年毎の改定、而かも時代を辨

へずに地方鐵道式線路の追加、之に加へて地方鐵道國庫補助の増額を策すと傳へられ、吾人をして國家に鐵道政策あるやを疑はしむ、鐵道を黨勢擴張の具に供すと言はるる所以、亦理なきに非ざるべし。

政友會、地方長官公選問題を忘れむとするとき、幸か不幸か、皇祖發祥の地に於て、地方長官乃至は縣會を中心としての暴動起る、支那が日本に渡來したるの感、暴動固より排すべし、併し之が禍因を與へたるもの、何人なるやに想到せば公選問題も亦有耶無耶に葬る能はざるべし、之を動機として今期議會に公選問題の論戦を見るべく、事の解決に一步を進め得たるを喜ぶ。